平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名　WDBホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2475　URL　http://www.wdbhd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中野敏光
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　(氏名) 大塚美樹　TEL 079-287-0111

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,125	3.6	392	△24.5	402	△22.5	153	△39.3
25年3月期第1四半期	5,909	10.2	519	54.5	519	52.5	253	42.0

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　155百万円　(△38.5%)　25年3月期第1四半期　252百万円　(41.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	15.63	―
25年3月期第1四半期	25.60	―

平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,009	5,541	55.4
25年3月期	9,873	5,484	55.5

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　5,541百万円　25年3月期　5,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	1,000.00	―	2,000.00	3,000.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		5.00	―	11.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期(予想)の年間配当金は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、平成25年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,608	6.0	1,062	3.1	1,062	2.1	599	22.1	60.96
通期	26,340	8.3	2,399	10.5	2,411	9.3	1,367	6.9	139.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり予想当期純利益は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	10,030,000 株	25年3月期	10,030,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	192,000 株	25年3月期	192,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	9,838,000 株	25年3月期1Q	9,895,143 株

(注)平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権によるデフレ脱却のための諸施策により円安傾向が続き、輸出企業を中心とした業績改善がみられるほか、個人消費の増加による内需拡大の動きも見られるなど、明るい兆しが出ております。

国内の雇用情勢につきましては、厚生労働省が発表した平成25年６月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月比0.02ポイント上昇し、0.92倍と緩やかに改善しており、総務省が発表した同月の完全失業率（季節調整値）についても前月比0.2ポイント改善し、3.9%とこちらも改善しておりますが、依然として高い水準にあります。

このような状況のもと、当社グループは、理学系研究職の人材サービス事業を行っておりますＷＤＢ株式会社において、平成25年４月に奈良支店及び和歌山支店を開設し、近畿エリアでの業容拡大へ向けた取組みを開始いたしました。

また、ＣＲＯ事業につきましては、平成25年３月に完全子会社化しました、統計解析・データマネジメント業務に特化した電助システムズ株式会社が、当社グループの一員として新たにスタートいたしました。今後、ＷＤＢアイシーオー株式会社との業務補完による事業の成長を目指してまいります。

さらに、研究開発・製造事業につきましては、株式会社ＷＤＢ環境バイオ研究所において、海水生物の生態影響試験事業を本格的に開始し、教育事業につきましては、平成24年５月に開校いたしました企業内大学院であるＷＤＢユニバーシティが開校１年を経過し、２期生も迎え入れ、産業界に貢献できる人材輩出のための取組みを継続して行っております。

以上のような活動の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、中核である理学系研究職の売上高の増加により6,125百万円と前年同四半期と比べ215百万円(前年同期比3.6%増)の増収となりました。事業別の構成比は、人材サービス事業が97.8%、その他事業が2.2%であります。

営業利益につきましては、主として理学系研究職の人材サービス事業において、新たな拠点の出店並びに営業人員・支店人員の拡充による経費の増加により、392百万円と前年同四半期と比べ127百万円（前年同期比24.5%減）の減益、経常利益は、402百万円と前年同四半期と比べ117百万円（前年同期比22.5%減）の減益、四半期純利益は、153百万円と前年同四半期と比べ99百万円（前年同期比39.3%減）の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①　人材サービス事業

研究職人材サービスの売上高が前年同四半期に比べ増加した結果、売上高は、5,989百万円と前年同四半期と比べ218百万円（前年同期比3.8%増）の増収、セグメント利益（営業利益）は、新たな拠点の出店並びに営業人員・支店人員の拡充による経費の増加による影響により、456百万円と前年同四半期と比べ112百万円（前年同期比19.8%減）の減益となりました。

（注）セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

② その他

当セグメントの売上高は、有機化学薬品の製造事業が前年同四半期と比較すると低調でしたが、魚介類の養殖販売事業が堅調に推移したことから、135百万円と前年同四半期と比べ２百万円（前年同期比2.0％減）の減収、セグメント利益（営業利益）は、３百万円と前年同四半期と比べ８百万円（前年同期比71.2％減）の減益となりました。

（注）セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の財政状態は、未収消費税等が減少しましたが、現金及び預金が増加したことにより、総資産は10,009百万円となり、前連結会計年度末と比較して135百万円の増加となりました。負債は、借入金は減少しましたが、預り金の増加等により4,467百万円となり、前連結会計年度末と比較して78百万円の増加となりました。また、純資産は5,541百万円となり、前連結会計年度末と比較して56百万円の増加となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、平成25年５月10日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,943,635	2,331,343
受取手形及び売掛金	2,866,891	2,847,516
商品及び製品	9,077	6,876
仕掛品	17,310	17,682
原材料及び貯蔵品	10,678	11,254
その他	823,788	578,916
貸倒引当金	△3,427	△3,348
流動資産合計	5,667,955	5,790,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,796,019	1,802,595
土地	1,437,468	1,437,468
その他（純額）	157,525	154,596
有形固定資産合計	3,391,012	3,394,659
無形固定資産		
のれん	157,736	141,107
その他	7,289	6,620
無形固定資産合計	165,026	147,728
投資その他の資産		
投資その他の資産	655,635	684,460
貸倒引当金	△6,110	△7,877
投資その他の資産合計	649,525	676,583
固定資産合計	4,205,564	4,218,971
資産合計	9,873,520	10,009,213
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,286,739	1,343,630
短期借入金	15,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	317,208	272,208
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	314,190	123,756
賞与引当金	285,113	237,241
資産除去債務	2,037	2,044
その他	1,246,875	1,601,739
流動負債合計	3,487,164	3,605,619
固定負債		
長期借入金	483,368	437,816
退職給付引当金	41,032	43,288
役員退職慰労引当金	280,991	286,335
資産除去債務	63,567	65,236
その他	32,718	29,524
固定負債合計	901,678	862,200
負債合計	4,388,843	4,467,819

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	1,000,000
資本剰余金	52,525	52,525
利益剰余金	4,700,960	4,556,389
自己株式	△75,814	△75,814
株主資本合計	5,477,671	5,533,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,445	2,370
為替換算調整勘定	4,559	5,921
その他の包括利益累計額合計	7,005	8,292
純資産合計	5,484,676	5,541,393
負債純資産合計	9,873,520	10,009,213

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	5,909,862	6,125,163
売上原価	4,451,539	4,675,615
売上総利益	1,458,323	1,449,547
販売費及び一般管理費	938,415	1,057,228
営業利益	519,908	392,319
営業外収益		
受取利息	9	17
受取配当金	1,471	1,453
還付加算金	3,796	8,552
雑収入	2,784	2,903
営業外収益合計	8,062	12,927
営業外費用		
支払利息	2,855	919
為替差損	1,939	－
雑損失	3,255	1,497
営業外費用合計	8,050	2,416
経常利益	519,920	402,830
税金等調整前四半期純利益	519,920	402,830
法人税、住民税及び事業税	193,510	205,937
法人税等調整額	73,110	43,083
法人税等合計	266,620	249,021
少数株主損益調整前四半期純利益	253,299	153,809
少数株主利益	－	－
四半期純利益	253,299	153,809

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	253,299	153,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	△75
為替換算調整勘定	△1,195	1,362
その他の包括利益合計	△1,171	1,287
四半期包括利益	252,127	155,096
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,127	155,096
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		その他（注）	合計
	人材サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	5,771,897	5,771,897	137,965	5,909,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,812	16,812	－	16,812
計	5,788,710	5,788,710	137,965	5,926,675
セグメント利益	569,631	569,631	12,166	581,797

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業及び魚介類の養殖販売事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	569,631
「その他」の区分の利益	12,166
セグメント間取引消去	2,946
全社費用（注）	△64,836
四半期連結損益計算書の営業利益	519,908

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	人材サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	5,989,980	5,989,980	135,183	6,125,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,269	15,269	－	15,269
計	6,005,249	6,005,249	135,183	6,140,432
セグメント利益	456,705	456,705	3,501	460,206

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業及び魚介類の養殖販売事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	456,705
「その他」の区分の利益	3,501
セグメント間取引消去	3,131
全社費用(注)	△71,018
四半期連結損益計算書の営業利益	392,319

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。